

- 1 教科等名 総合的な学習の時間
- 2 単元名 防災から考える～自分と地域～

3 単元の目標		武蔵野市民科 資質・能力
○知識・技能の習得	・「3.11を忘れない」「東京防災」などの資料から災害や防災の現状を知るとともに、武蔵野市の取組や防災に携わる人々の努力や工夫に気付く。	C1
○思考力・判断力・表現力等の育成	・調べ学習を通して、災害から身を守る方法や地域・身近な人に対して何が出来るかを考え、話し合い、まとめたことを発信する学習を通して、相手や目的に適した表現方法を考えて発信する力を育む。	A2
○学びに向かう力・人間性等の涵養	・市役所や地域防災会の方の話を聞いたり、地域の方の思いを踏まえて自分の感じたことをまとめたりする学習を通して、自分にできることやよさに気付き、それを生かしながら地域社会にすずんで関わろうとする態度を育てる。	C2

4 単元計画

小単元	ねらい	時数	主な学習活動・指導上の工夫	関連教科 関連団体（連絡先等）
小単元 ①	災害に対する備えに関する課題を設定し、防災に取り組む。	8	・避難訓練や災害の経験、災害に応じた安全対策について学習したことを振り返り、個人の課題に沿った防災対策をすることで意識を高める。 テーマ例「防災バックを準備してみよう。」 「自分が住む地域のハザードマップを作ってみよう。」	
	過去の災害の経験、歴史や体験談など、実体験を基にした情報を収集する。	8	・防災対策を基に現状の課題を捉え、自分で調べるだけでは分からないことを体験者に聞き、被災者の思いや、防災の大切さに気付く。 ・聞いた内容から、自分達にできることを考察する。	地域コーディネーター 社会「低い土地の暮らし」 「あたたかい土地の暮らし」 武蔵野市防災課
	今までの情報を基に、改めて自分や家族ができる防災の取組を考え、実行、発信、振り返りを行う。	8	・学習の成果を、プレゼンテーションや展示などを通じて表現する。 ・活動を通じて、学びの振り返りを行い、防災に対する自身の意識の変容を言語化する。	
小単元 ②	学校や地域に必要な防災意識を考えるために、情報を収集、整理する。	8	・防災対策の経験や振り返りを基に、学校や地域に何を呼びかけられるかを考え、情報を集める。 ・身近の人の防災について、自分の考えを出し合い、地域の活動と関連付けて考える。	理科「流れる水の働き」 「台風と防災」
	学校や地域の防災意識が高まる取組を、前回の活動を基に考えて発信する。	16	・地域で活動する人へのインタビューなどを通して、具体的な防災対策や人の思いを直接聞き取る。 ・学んだことをレポートやスピーチなどにまとめ、他学年や保護者に向けて発信し、伝える力を高める。 ・活動の振り返りを通して、今後どのような防災を考える必要があるかを考察する。	地域コーディネーター 国語「文章に説得力をもたせるには」
	自分自身、家族、地域、学校への取組を振り返り、課題を見出す。	4	・学んだことを振り返り、共有する。 ・現状の成果と課題をまとめる。 ・キャリアパスポートに振り返りをまとめる。	
小単元 ③	武蔵野市や東京都の取組から、自分たちにできる防災活動を考える。	4	・地域に向けた防災対策の成果と課題を基に、今後何をしていくことが防災につながるのかを考察し、地域の活動と関連付けて考える。	地域コーディネーター 社会「自然災害を防ぐ」
	今までの災害の経験を今後も生かしていくためには何が出来るかを考え、発信する。	10	・学習の成果を、プレゼンテーションや展示などを通じて表現する。 ・活動を通じて、学びの振り返りを行い、防災に対する自身の意識の変容を言語化する。	国語「こども未来化で何をする」
	これまでの活動を振り返り、自分の取組を価値づけることで、防災への意識を高める。	4	・学んだことを振り返り、共有する。 ・キャリアパスポートに振り返りをまとめる。	

合計時数 70 時間

5 単元の振り返り

成 果（児童・生徒の変容等）	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・武蔵野市の防災に対する取組や災害時の町や避難所の様子などを知り、防災に携わる人々の工夫や努力に気付くことができた。 ・自助・共助・公助の考えから、自分たちが考える防災の取組を話し合い、地域や身近な人に提案したり実践したりすることができた。 ・防災のために日ごろから自分たちにできることは何かを考え、身近な人と一緒に生活に生かそうと、防災への意識が高まった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災のイメージをつかむことが難しく、地域に広げたテーマ作成がしづらかった。 ・児童の目的に合った地域人材の活用が難しい。